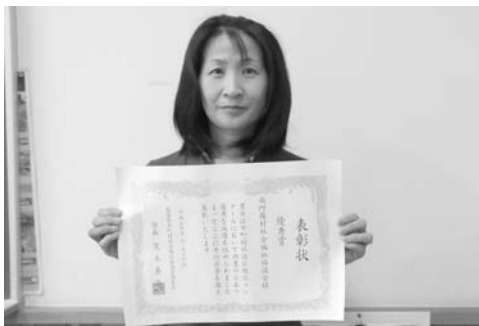




6/16 親しみのある広報誌をめざして 「熊本市町村社協広報誌コンクール」優秀賞受賞

県下の社会福祉協議会が発行する広報誌を対象とした、「市町村社協広報誌コンクール」の表彰式がメルパーク熊本で行われ、村社会福祉協議会の「南阿蘇社協だより」が優秀賞を受賞されました。このコンクールは市町村社協における広報活動の向上に寄与することを目的に、本年度初の開催。

村社協職員で、広報誌担当の工藤富美代さん（第四駐在）は、「思いがけない受賞で職員全員喜んでいます。今後たくさんの福祉サービスや、地域福祉の情報を発信し、村民の皆さまに親しみを持ってもらえる広報誌づくりに努めます」と話されました。



表彰状を手にする村社協職員の工藤富美代さん

6/14 落札金額を滞納村税へ 村差押動産公売会

本年度第1回目の村差押動産公売会が、白水総合センター大会議室で行われました。

公売会では、滞納者宅から差し押さえた家電・日用品など31品を出品。落札金額は165,200円に上り、滞納となっている村税の一部に充てられました。村では今後も納期限内の納税者との公平性を保つため、滞納者宅の搜索や動産の差し押さえなどの法的処分を県および阿蘇管内市町村と協力して進めていきます。



数々の差押動産が並ぶ村公売会

6/21 仲間と一緒に楽しく健康づくり 「南阿蘇村ウエストサイズ大作戦」開講式

「南阿蘇村ウエストサイズ大作戦」の開講式が長陽保健センターで行われ、村内から16チーム36人が参加しました。

この取り組みは、一人ではなかなか続けられない健康づくりを、仲間と一緒に楽しく行うことを目的とし、来年2月まで約20回実施する健康プログラムへの参加および歩行浴センターでの自主運動を通して、ポイントを貯めながらチームの平均ポイントで順位を競うもの。

開講式後は、インストラクターによる簡単な体ほぐしの運動やストレッチが行われました。

「ウエストサイズ大作戦」は随時参加者を受け付けています。〈問い合わせ・申し込み〉長陽歩行浴センター TEL (65) 5077



開講式後ストレッチに挑戦する参加者の皆さん

6/20 シカの被害対策を推進します シカ被害対策協定書調印式

年々増加するシカ被害を抑制し、農林業被害および生態系被害の防止につなげることを目的として、久木野庁舎集会ホールで、熊本森林管理署、高森町、同猟友会および、村、同猟友会の間で、「シカ被害対策協定書」の調印式が行われました。

シカにより食害された幼齢林は、枯死し成長を著しく阻害され、地域によっては成林が困難になり、下層植生の食害により生物多様性の喪失や土壌流出など新たな問題となっています。

今後は、関係機関のこれまで蓄積された詳細な技術、情報などを共有および、協力体制を構築し、鳥獣被害の削減に向け、効果的、効率的な捕獲を地域全体での取り組みとして進めていきます。



協定を結んだ関係者の皆さん

7/2 犯罪や非行のない地域社会に 社会を明るくする運動強化月間

7月の「社会を明るくする運動強化月間」に伴い、村内3中学校で阿蘇地区保護司会南部分会と村女性会キャラバン隊の17人が啓発キャンペーンを実施しました。

早朝より、登校する生徒たちに「社会を明るくする運動」のパンフレットを手渡され、犯罪や非行の防止を呼びかけられました。

この運動は、全ての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人や非行のある少年の更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい地域社会を築こうという趣旨で全国展開されています。



渡辺会長をはじめとするキャラバン隊の皆さんと村関係者

6/25~27 火遊びは絶対しません 3 保育所園内消防大会

6月25日から27日にかけて、長陽、立野、長陽西部保育所で幼年消防クラブの園内消防大会が開催されました。27日は長陽西部、立野保育所合同で行われ、あいにくの雨になりましたが、お揃いの法被に身を包んだ年長児8人は、古澤由美子園長から元気よく委嘱状を受け取り、全員で「防火の誓い」を述べました。

委嘱状交付後のアトラクションでは、防火遊戯や、ミニ腕前ポンプ操法が行われ、園児たちは機敏な動きで練習の成果を披露し、会場から大きな拍手と笑顔が送られていました。



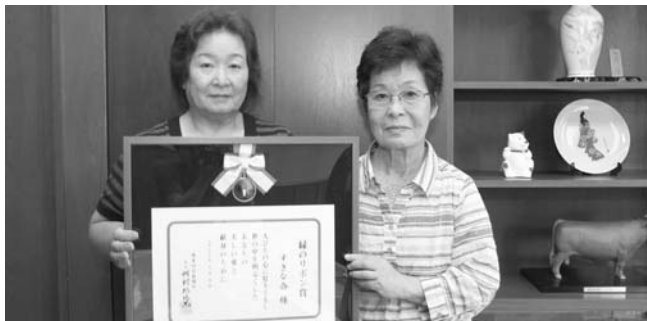
ミニ腕前ポンプ操法で人が運ぶ救急隊員の園児たち

7/5 熊日緑のリボン賞 受賞 ボランティアグループ「すぎな会」

長年にわたって社会奉仕や環境美化などに取り組む人たちをたたえる「熊日緑のリボン賞」に、本村のボランティアグループ「すぎな会」(21人)が選ばれました。

同会は、平成3年に設立。村社会福祉協議会の「生きがいデイサービス」の手伝いや、アルミ缶を回収して、その売却代金で購入した車椅子を社協へ寄贈する取り組みや、ペットボトルのキャップを回収して、ポリオワクチンを世界の子どもたちに届ける取り組みなどが認められての受賞となりました。

会長の福井郁子さん(下野)は、「皆さんの協力をいただきながら、健康に注意して活動が続けたい」と話されました。



すぎな会の長野幸子(左)さんと福井郁子さん

7/5 村の福祉に役立てて 藤本慶子さん(中松二)

村へ一般寄付をされた藤本慶子さん(中松二)に長野村長から、感謝状が手渡されました。

今年、卒寿を迎えられた藤本さんはその記念として村に寄付されたもの。

寄付金は、「村の福祉に役立ててほしい」と話されました。

藤本さんは、75歳から社交ダンス愛好会「白水木曜会」が所属する立石ダンス教室でダンスを続けられており、以前も同教室のチャリティダンスパーティの参加料を村社会福祉協議会へ寄付されています。



長野村長から感謝状を受け取られる藤本さん



7/12~13 村政説明会を開催

村内5つの小学校校区で

村が進めている様々な事務事業、施策などを説明する村政説明会が、村内5つの小学校校区で7月12、13日の2日間、長野村長をはじめ、役場から課長、審議員などが出席して開催されました。

13日に行われた長陽地区(長陽中央公民館)では、長野村長が「私が、就任して2度目の開催。会の目的でもある皆さんのご意見、ご質問をいただきたい」とあいさつ。

説明会では、総務課から役場庁舎整備に向けた今までの取り組み、村の財政状況、各課から平成26年度主要事業などの説明が行われ、質疑では参加者から新庁舎建設問題、村財政、村職員数の適正化などについて質問や提案など活発に意見が交換されました。



村政説明会であいさつする長野村長と村関係者、参加者の皆さん

7/14 南阿蘇村の一員として

長陽中学校ガードレール清掃

コミュニティスクールを進めている長陽中学校(田邊鶴芳校長)で、全校生徒が参加し、同中学校の正門前のガードレール清掃を行いました。これは、生徒会執行部が企画した「村人プロジェクト」の一環として、「村民として何か地域に貢献しよう」と行われたもの。持参した「たわし」などでガードレールを磨く生徒と、水を汲みに行く生徒が協力して清掃しました。

清掃を終えた2年生の川崎晴菜さんは、「大変ですが、きれいになると楽しいです」と感想を話してくれました。



丁寧にガードレールを磨く長陽中の生徒たち

7/7 願いがかないますように

「にこにこひよこクラブ七夕まつり」

子育て支援センター「にこにこひよこクラブ」の「七夕まつり」が、長陽保健センターで開催され、村内外から15人の親子が参加しました。

まつりでは、センタースタッフ3人による七夕のお話の後、和気あいあいの中全員で協力して一つの長い「輪つなぎ」を作り、古澤育男さん(沢津野)から提供された笹に、事前に作成した飾りや、願いごとが書かれた短冊をそれぞれ丁寧に飾りつけました。完成したきらびやかな七夕飾りを見た子どもたちは大はしゃぎ。「七夕のうた」を歌った後、あいにくの天気のため七夕飾りは保健センター内に飾られました。



「輪つなぎ」を協力して作る参加者の親子

7/13 元気に子ども神輿

八坂神社「祇園さん祭り」

一関一・中松一・中松二区の地域住民で構成する「祇園さん祭り実行委員会」主催の八坂神社「祇園さん祭り」が、多くの参加者でにぎわう中行われました。

例年7月15日に開催されていた「子ども神輿」を、今回初めて子どもの参加しやすい日曜日に変更。60人の子どもたちが集まりました。

あいにくの悪天候でしたが、2基の「子ども神輿」をかついだ子どもたちは、境内の中を大きなかけ声とともに元気よく駆け回りました。

その後、2基の「大人神輿」が御旅所を往復。終わりに神社の境内を力強く走り回りました。



多くの子どもたちが参加した子ども神輿